

第8編

● 7月21日(火) 曇り 夕張岳(1668m)

・今回の山紀行最後の山となった。暑寒別岳と同じように、昨日は晴れていたのに今日は高曇りで、眺望はあるが日は差していない。かえって暑くなくて良いかもしれない。

・朝3時半に目が覚めて外を見たがまだ真っ暗だ。3時50分起床、空は高曇りでうっすらと明るくなってきたが日差しは望めそうもない。南のほうは雲が黒いが北の方・夕張岳の方は明るい、何とかもちそうなので出かける用意をした。午後は天気が下り坂らしいので早い行動が決め手、4時30分に入山届けに記入して登り始めた。私が今日一番早い入山者らしくまだ人の気配が無い。空は幸い薄日が差すほどに明るい。誰もいない静かな登山道をまず冷水コースに入って登る。天気が気になり気が焦るのでペースは早い。2時間で望岳台に立った。雲海の上に芦別岳方面の山並みがくっきり浮かんで見える。一服して展望を楽しんだ。

・前原湿原から山頂まではさすが夕張岳、いろいろな花々が咲き乱れていてまさに疲れが吹っ飛ぶ。延々と続く木道を芦別岳を左手に見ながら写真を撮りながら気持ちよく歩いた。
・シナノキンバイの派手な花が一杯だと思えば地味なシロウマアサツキが一面に咲いていたり、足下にはミヤマキスミレやムシトリスミレ、ウメバチソウなどがひっそりと咲いている。ただ残念ながら吹き通しに群生している固有種ユウバリソウは花が終わった直後で穂だけになっており、ユキバヒゴタイの花はまだ少し早いのか堅い蕾で、咲いていなかった。

・ここでも写真を撮っているうちに先日の暑寒別岳のときと同じく雲が湧きだし、あっという間に山頂は雲に包まれてしまった。望岳台から前原湿原とずっと芦別岳を眺めながら歩いてきたが、8時半に山頂に立ったときには芦別岳とそこから続く夕張山地を眺めること



夕張岳登山口



芦別岳方面の山並みが



シロウマアサツキ



ユウバリソウは花が終わった直後

は出来なかった。山頂にはすでに男性5人のグループが先着していた。私の前に登っていた人がいたのだ！ 視界も無く気温も寒いので山頂の写真を撮ってすぐに下山に入った。

・雨が降りそうなので下りを急ぎ、望岳台で小休止しパンとポカリスウェットで空腹を癒しただけで殆ど休み無しで下った。下りは馬の背コースをとった。登ってくるパーティーに何組も会ったが、気の毒に皆さん霧の中の登山だ。11時に登山口に到着、コースタイムで7時間20分の道を6時間30分で下りてきた。幸い雨には降られなかったが、山はすっかり霧の中にかくれてしまった。やはり山は早出が勝ちだ。今日の夕張岳で今年の「北海道山紀行」の登山は終了した。夕張岳はユウバリソウをはじめ見られるはずのいろいろな見たい花を見ることが出来なかったので時期をずらして出直す山の一つになった。

・昨日閉口した悪路を走ってやっと抜け出し国道に出て夕張へ向かった。途中昨日約束したので無事下山の報告のためチューパロダムインフォメーションセンターに寄った。美人の加藤さんと可愛い羽柴さんが迎えてくれた。山の話や花の話をして30分くらい居たが、お茶の一杯も出なかった。今日の疲れを癒すため夕張に寄って日帰り入浴「ユーパロの湯」に入った。料金600円で北海道には高いが、なかなか立派な施設で良い風呂だった。こんな立派な施設を作るから財政が破綻するんだね。



夕張岳山頂



夕張山岳ヒュッテ前を通過



ユーパロの湯

・天気は何とか雨が降らずにうす曇、今夜の宿泊予定地にした道の駅「マオイの丘公園」を目指して走った。道の駅「マオイの丘公園」は昨年も来たが、きれいな公園を持った駅で、レストランもきれいで8時まで営業している。メニューを見ると安くて旨そうなものばかり、山紀行最後の夜を祝して豪華な食事でもという誘惑に駆られたが、ぐっと我慢して焼きそばを調理して夕食とした。雨は降っていないが、曇っていて風が強く、気温が低くて寒い。

・周りにはパジェロで来ている川崎の平野さん（S14年生まれ）、ワンちゃんと二人旅で奈良から来ているおじさん、福井から来ているおじさんなど泊まっていて話が弾んだ。川崎の平野さんは毎年、今年も一ヶ月以上来ていて、キャンプ場や温泉や、関係書籍などいろいろ紹介していただいた。7時過ぎに就寝。

● 7月22日（水） 雨 移動・道の駅めぐり

・夜中にもものすごい雨が降り続いていた。朝4時過ぎに起きたときは小降りになっていた。まもなく雨が止み、車が雨でぬれているので、これ幸いと帰郷のための車の掃除に取り掛かった。洗面所からバケツに水を汲んできて仕上げの洗浄をした。朝食をとりながら回りのおじさんたちと話しをしたり、日記を書いたりして現在8時、気温15℃で寒いくらい。

・8時すぎ川崎の平野さんと福井のおじさんに挨拶してマオイの丘公園を後にして千歳へ向かった。洗濯をしたいので千歳でコインランドリーを探したが、つぶれていたり、その場所に無かったりして見つからず、とりあえず道の駅「サーモンパーク千歳」に落ち着いた。掃除をしているおじさんに「この辺にコインランドリーない？」と聞いたら、すぐそばにあると教えてくれ、おまけに車に積んであったゴミまで回収してくれた。感謝！歩いて5分、管理者のおばあさんと話しながら洗濯。90歳というが元気、ただ後継ぎがないのでこのランドリーも閉鎖の憂き目か。洗濯300円、乾燥100円でとりあえずすべての洗濯を完了した。

・天気は回復して夏の日差しが暑い。サーモンパークのベンチでカップヌードルで昼食、コーヒーを飲んでゆっくりしてから道の駅スタンプ集めの旅に出発、現在昼の12時。苫小牧から海岸沿いの国道36号線を西に向かって走って登別温泉へ向かった。地図を見ると倶多楽湖というのがある。行ったことが無いので寄ってみた。結構山の上まで細い道を登って着いた倶多楽湖は、霧にけむる山奥にひっそりと水をたたえている静かな湖、特に見るところも無いのでそのまま登別へ



霧に煙る静かな「倶多楽湖」

下った。何十年ぶりか来た登別温泉だが、いわゆるガチャガチャの温泉旅館街なので寄らずに通過して、有珠山の見える壮瞥へ向かった。道の駅「そうべつ情報館」から禿頭みたい



そうべつ情報館

もう4時近いので今夜の宿泊地を決めないと。今朝平野さんに「留寿都は良いよ」と聞いたのを思い出し洞爺湖の東岸を走って留寿都へ向かった。



昭和新山と霧の中の有珠山

な昭和新山は見えたがその奥の有珠山は雲の中に隠れて見えなかった。



霧に煙る洞爺湖の東岸を走る

・道の駅「230ルスツ」は広い駐車場を持ち裏に花一杯の広い公園があって、たしかにすばらしい道の駅だ。ただ雨模様で気温が低いし、広い駐車場には車がパラパラ数台止まっているのみ、今年の北海道は本当に雨ばかりで寒くて車が少なくて寂しい。案の定本格的に雨が振りだした。こんなこともあるかと思い壮瞥で弁当を買ってきてよかった。車内でビールと弁当で寂しい夕食を摂っているうちに隣に居た車もどこかへ行ってしまった。ひょっとしたら今夜は私1台のみ？ 今6時45分、やることないし寂しいので寝る！



広い駐車場が寂しい「ルスツ」

・横になってうとうとした途端（7時過ぎ）、携帯がけたたましく鳴り出し起こされた。

永田多恵子さんからで、帰りに仙台に寄るのかとの問いと、私のご機嫌伺いだ。「今ルスツに居る」と言ったら、ルスツのかぼちゃポタージュがおいしいから是非買って帰れと教えてくれた、そのあと暑寒別岳と目国内岳にギョウジャニンニクがいっぱいあった話から、行ってきた山は天気が良かった話など一方的に喋りまくり30分くらい話して電話が切れた。なかなか元気なおばさんだ！ やっと開放されて寝に着いた。

● 7月23日(木) 雨 千歳は晴 移動・道の駅めぐりから千歳へ

・夜中12時頃にもものすごい雨が降った。朝5時起床、外は霧雨、今日も雨の一日か！ 気温は14℃で寒い。

・明け方寝ながら布団のしまい方をいろいろ考えた。フックを付け替えて畳んだ布団を運転席の後へ収納すれば後のスペースがフラットで広がる。なんで今までこんなことに気がつかなかったのだろうか。外は雨だが車内工事なので6時過ぎに工事完了。

・ブレッド/マーガリン、きゅうり、卵、牛乳、コーヒーで朝食を済ませ、昨夜永田夫人にご教示いただいたかぼちゃのポタージュを購入するため9時の売店開店を待つ。

やっと雨が止んできたので公園を散歩した。広々とした芝生の丘に色々な花一杯でなかなかすばらしい公園だ。道の駅の裏手に設置された公園の駐車場は、マオイの丘で平野さんに聞いたとおりこりやすごい！トイレはもちろん炊事場まで完備されていて無料。駐車場は20台くらいと狭いのでシーズンには場所の取り合いになるというのも頷ける。昨夜の駅の広い駐車場には車が数台しかいなかったのにここは満杯だ。

・9時開店を待ってかぼちゃポタージュを買おうとしたら品切れだとかで手に入らず。9時の開店を待っていたのが馬鹿みたいだ。

・明日はもう帰りのフェリーに乗るので道の駅めぐりも今日で最後、最後の道の駅めぐりに出発した。まず道の駅「とうや湖」でスタンプを押し、昨年寄らなかつたサミットのウインザーホテルへ行ってみた。ウインザーホテルは山の上であり今日その山は雲の中、数m先も見えないような濃霧で、駐車場についてもホテルの全容が全く見えない。おまけに玄関に



広々とした芝生の丘に色々な花一杯



炊事場完備の駐車公園

いったら、「用の無い人、見学者は入館お断り」の立て札が立っていてシャットアウト。

実に気分の悪いホテル、早々に引き上げた。山を下って豊浦へ、そろそろ腹が減ってきたので真狩で昼飯を食べようと道の駅「真狩フラワーセンター」へ行ったが、大したメニューが無いのに全て 1000 円以上する。あほか！まだ12時なので我慢して先へ急いだ。目指すは大滝の駅「フォーレスト 276 大滝」、隣に「きのこ大国」というでかい食堂があったのを思い出した。少々飛ばして13時前に着いた。880 円の大滝そばを食べた。きのこが満載で、とろろに卵、その上に海老天が載っている。安くて旨い！真狩をやめてここ大滝へ来たのは大成功だった。腹がふくれたところで、今回の北海道紀行の最終宿泊地になる今夜の地を恵庭か千歳と決めて恵庭方面へ車を走らせた。



霧で見えないウインザーホテル

・まずお気に入りの道の駅「花ロードえにわ」に寄ってスタンプラリーの結果を提出した。今年は53駅制覇し昨年と同じ敢闘賞を、昨年と同じここ「花ロードえにわ」で提出した。さて次は風呂だ、日帰り温泉ラフォレへ。今回の旅はラフォレで始まりラフォレで終わることになった。どういうわけかここ恵庭周辺はポツカリと雲が切れて日が差している。恵庭は何回も泊まっているので今夜は千歳に泊まることにした。温泉でゆっくりと疲れを癒してから、



最後の夜は千歳で・青空だ

途中のスーパーでつまみとすしを買い込んで、最後の夜の祝杯の準備完了。道の駅「サーモンパーク千歳」では芝生の横でベンチもある駐車スペースを確保して、早速一人で祝賀会を始めた。キンピラと松前漬けを肴にビール2缶、主食はすしでビール1缶、最後はコーヒーで締めて今夜も更けた。8時前に就寝、良い夜だった。

● 7月24日（金） 曇り 帰途に着いた

・朝4時半に起床、外は曇り空で気温16℃、周りには霧が立ちこめ暗い。今週から来週も曇りから雨のこんな天気が続き、天気の回復は全く期待できないと言う。これから先こんな寒くて暗い北海道にいても仕方ない、今日帰ることにして良かった。

・トースト/マーガリン、味付け卵、メグミルクの朝食、食後のコーヒーを楽しんでいると

もう雨が降ってきた。参ったな。フェリーは 19 時半苫小牧東港発、それまで何して過ごそうか。しばらくすると雨が止んできたので千歳川のほとりを散歩し、鮭のふるさと館に入った。ここに入るのは2度目だが、なかなかよく出来ていて入館料 800 円の価値は十分あると思った。特に千歳川の川底を直接観察できるのが良い。ホームセンター・ホームックへ行って何をかうでもなくうろついて時間を潰し、セイコマートで昼、今夜、明朝の食料を買い込んで車に戻り、ベンチに座って割り子そばの昼食。やっと 12 時を回った。

・昨年と同じくお土産を買うために千歳空港へ向かった。さすが空港は人が多い。花畑牧場の生キャラメルも大声で宣伝・販売をしていた。朋子、直人、恵子たちへのお土産を買い揃え、これで完全に今年の北海道紀行が終わりとなった。帰りのフェリーに乗るため苫小牧東港へ車を走らせた。でもこれから苫小牧東港へ行っても早すぎるので、この旅の始まりに高速を通ったため通過してしまった鶴川の道の駅「むかわ四季の館」へわざわざ行ってみた。一昨年初めて北海道山紀行をはじめた時に最初に宿泊した思い出深い道の駅だ。風呂もホールもありプールまで備えた立派な駅だが、なんとなく野暮ったい。ただ人気があるのか広い駐車場は車で満杯だ。売店を見ているうちに榛名の職員たちへのお土産（白い恋人にしようと考えていた。）を空港で買ってくるのを忘れたことに気がついた。ここの売店には売っていない。えらいこっちゃ！ たぶんフェリーターミナルでは売っているだろうと思い、鶴川を早々に切り上げて急遽苫小牧東港へ車を走らせた。3時40分にフェリーターミナルに到着、7時半の出航までまだ4時間近くもある。どうしようかと思っただが、すでに4～5台の車がもう並んでいる、驚きだ！ お土産の「白い恋人」は思ったとおり売店に置いてあり無事ゲット。何をすることも無く19時の乗船時間まで待った。なんとか持っていた雨が我慢しきれずに降り出した。今年を象徴するように雨の中で北海道を離れることとなった。



帰りのフェリー「しらかば」

・新潟からのフェリーは定刻の17時30分に入港したが、トレーラーの積み出しに時間がかかり、乗船開始が15分以上遅れたので予定より遅れて19時45分に雨の苫小牧東港を出航した。乗客はかなり込んでいる。私が予約時にミスをしたようで2等の雑魚寝部屋になっていたのを2等寝台に変更するのに時間をとり、出航から10分もしてやっと自分の2等寝台に落ち着いた。やれやれ。いつもなら乗船後出航する前に風呂へ入ってしまうのが、今回は出航してからやっと風呂に入ることが出来た。みんな出た後だったのでかえってすいて良かったかな。秋刀魚の蒲焼を肴にビールで乾杯、明太のり弁当で夕食が済んだらもう9時を回っていた。明日新潟港着は午後3時30分の予定の長旅だ、ゆっくり寝よう。それにしても今日の船は良く揺れる、このフェリーには何回も乗っているが、こんなに揺れ

るのは初めてだ。酔って親に介抱されている子も何人かいる。天候がかなり悪いのだろう。そのうちに寝てしまった。

● 7月25日(土) 雨 新潟へ・終結

・苫小牧を出てから津軽海峡を通過する頃には熟睡していた。日本海に出たからは海は穏やかになり船も揺れなくなった。朝5時に起床、洗面を済ませてから、左側のラウンジにただ一つあるコンセントの前の席を確保した。パソコンを開きながら、サンドイッチと牛乳、野菜ジュース、コーヒーで朝食。隣の席に名古屋から来ているという百名山ピークハンターの中年夫婦が座った。一昨日はトムラウシ山へ登ってきたという。新潟港に着いたら新潟近辺の百名山へ登りたいが何処がいいだろうかと相談を受けた。そんなこと自分で計画して来い！八海山(百名山ではない)や蔵王へ行ったらと言っておいた。ご主人は元船乗りだったとかで、7時半に秋田港に入港したら入港を見てくるといって出て行った。



順調な航海・新潟港へ

その後奥様と山の話など色々話して時間が経った。

- ・その後反対右側のラウンジ移り日記など書き始める。9時の定刻に秋田港を出航した。海は穏やかだ。船は新潟港目指して快適に航行している。旅の整理をしたり、日記を書いたりし、昼食後は昼寝。

これで 今回の「北海道山紀行」は終わり。

テレビで天気予報をやっている。

「北海道の来週の天気はおおむね良好。来週水曜日以降は天気安定して晴天が続く。」
当てにならないけどね。今回はこのような予報に何回騙されてきたことか。

完